

小倉記念病院 循環器内科日より

つなぐ

Vol.73

2024.11月

今日の小倉記念病院の前身である「私立小倉記念病院」は、大正5年に創立。旧小倉市宝町51番地にあった。現在の井筒屋新館のあたりだ。大正天皇即位の御大典が竣工の大正4年に行われたため、即位を記念して小倉「記念病院」と名付けられた。

昭和45年に小倉北区貴船町へ移転。昭和48年に伴敏彦先生（現名誉院長）を迎え、心臓血管外科（当時は第2外科と呼称）の診療が開始された。循環器内科が標榜されたのは6年後の昭和54年1月1日。現在の心臓血管病センターの歴史の始まりである。延吉正清先生（現名誉院長）が日本初のPCI（経皮的冠動脈形成術）に成功したのが昭和57年。これを機に、小倉記念病院は全国的に期待と注目が集まるようになっていく。

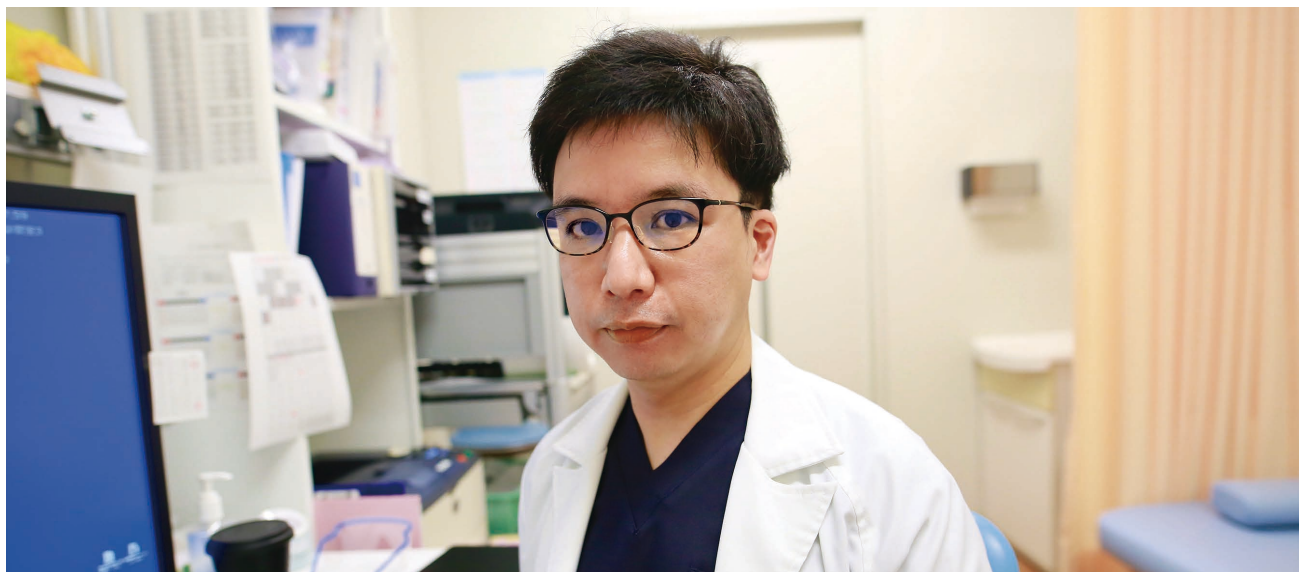
心臓の診療が始まって半世紀。循環器疾患のハイボリュームセンターとして、現在循環器内科には40名を超える医師が在籍している。先達が築き上げてきた礎を未来につなぐために、冠動脈疾患、末梢血管疾患、不整脈疾患、構造的心疾患などそれぞれの分野のスペシャリストたちはこれからも更なる高みを目指していく。



第81回

小倉循環器内科セミナー

2024年 12月13日(金) 18:00~18:30開催



もう日常診療で慌てない、困らない
TAVIがある現在の大動脈弁狭窄症の診療

座長 小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講師 小倉記念病院 循環器内科副部長 林 昌臣

参加方法



ZOOMによる
WEB参加のみとなります!

ZOOMの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研究会→④zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

